

平成28年9月

小谷美香 学位論文審査要旨

主 査 磯 本 一
副主査 武 中 篤
同 小 川 敏 英

主論文

Safety and risk of superselective transcatheter arterial embolization for acute lower gastrointestinal hemorrhage with *N*-butyl cyanoacrylate: angiographic and colonoscopic evaluation

(急性下部消化管出血に対する*N*-butyl cyanoacrylateを用いた超選択的経カテーテル動脈塞栓術の安全性と危険性：血管造影および大腸内視鏡評価)

(著者：小谷美香、矢田晋作、大内泰文、井隼孝司、神納敏夫、小川敏英)

平成28年 Journal of Vascular and Interventional Radiology 27巻 824頁～830頁

参考論文

1. 画像診断が有用であった肝蛭症の1例

(著者：小谷美香、大内泰文、井隼孝司、角田宏明、神納敏夫、小川敏英)

平成26年 臨床放射線 59巻 1379頁～1382頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、急性下部消化管出血に対する*N*-butyl cyanoacrylateを用いた超選択的経カテーテル動脈塞栓術の安全性と危険性に着目して、血管造影および大腸内視鏡所見を比較し検討したものである。今日では超選択的な動脈塞栓が可能になり、臨床で複数の直細動脈を塞栓することはまれであるが、本研究の結果から、1本の直細動脈でも分枝血管の本数によっては虚血性変化を生じる可能性があることが判明した。本論文の内容は、急性下部消化管出血に対する超選択的なNBCA-TAEの安全性と危険性を明確化したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。